

## 1 社会・治安情勢

- (1) 多くの観光客が訪れるリオ市ゾナスル地区においても、スマートフォンを狙った強盗事件や窃盗事件（ひったくり）が引き続き多く発生しており、日常生活においても十分な警戒が必要です。
- (2) 9月13日（金）から22日（日）まで、リオ市バツハダチジュッカ地区において大規模音楽イベント（Rock in Rio）が開催されました。開催期間中、文民警察は、889件（うち614件は携帯電話の窃盗事件）の事件を認知し、38人を逮捕しました。
- (3) 9月19日（木）夜間、リオ市北部ブラスデピナ地区（Bras de Pina）において、警察官の運転する車両が道を誤りファベーラに入ったところ銃撃を受け、警察官が負傷する事件が発生しました。9月18日（水）には、誤ってマレ地区に入った家族が銃撃を受ける事件が発生しました。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2024年度第2四半期（7～9月）中のリオ州内における殺人事件発生件数は656件で、前期（2024年度第1四半期）と比べて約7%減少しましたが、引き続き高い水準で発生しています。
- (2) 同期間中におけるリオ州内における強盗事件発生総数は、27,496件（前期比約+8%）で、前期と比べて増加しました。手口別では、特に屋外での強盗（車両強盗、通行人強盗、交通機関内強盗、携帯電話強盗）が多く発生しています。ゾナスル地区の中では、ポタフォゴ・フラメンゴ地区で強盗事件が著しく増加しています。日常生活における十分な警戒が必要です。

### 3 リオ州犯罪発生状況（2023-2024 年度）

	2023 年度		2024 年度	
	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期
	(10~12 月)	(1~3 月)	(4~6 月)	(7~9 月)
殺人	801	766	703	656
強姦性交等	1,346	1,443	1,481	1,493
商業施設強盗	430	400	398	341
住居侵入強盗	243	186	197	137
車両強盗	5,822	6,302	6,781	8,187
通行人強盗	7,239	7,882	7,520	7,694
交通機関内強盗	1,268	1,259	1,521	2,004
携帯電話強盗	4,299	4,869	5,339	5,580
強盗総数	22,857	24,496	25,470	27,496
窃盗総数	43,634	46,494	45,266	44,121
取扱件数	211,580	227,072	232,654	231,516
※警察介入の際の致死事件	142	152	202	188

### 4 一般事件等（邦人の安全に関わりうる事件を抜粋）

#### （1）拳銃所持強盗（レブロン地区）

7月11日（木）午後、レブロン地区ジェロニモ・モンテイロ通りにおいて、拳銃を所持した犯人による強盗事件が発生しました。被害者は、スマートフォンを操作しながら歩道を歩いていたところ、犯人に銃口を向けられ、所持品を強奪されました。その後、犯人はバイクに乗り現場から離れました。

#### （2）クレジットカード詐欺事件（コパカバーナ地区）

7月23日（火）、コパカバーナ地区路上でクレジットカード詐欺事件が派生しました。路上で飲酒していた外国人観光客が、犯人から手に持っていたグラスに一方的にお酒を注がれ、代金を請求されたことから仕方なくクレジットカードで支払ったところ、後日、請求された金額とは全く異なる法外な金額が請求されました。

#### （3）車両強盗未遂（Linha Vermelha 大通り上）

9月5日（木）深夜、ガレオン国際空港方面からゾナスル地区方面へ向かう Linha Vermelha 大通りにおいて、拳銃を所持した犯人による車両強盗未遂事件が発生しました。被害者は、車両で Linha Vermelha 大通りから Linha Amarela 大通りへと向かう側道に入ったところ、前方の車両が急停車し、拳銃を所持した犯人が被害車両へ接近、逃走しようとした被害車両に向けて発砲しました。幸い被害者に怪我はありませんでした。

(4) 強盗事件（トンネル・ノボ（Túnel Novo）内）

ボタフォゴ地区とコパカバーナ地区の間に位置するトンネル・ノボ（リオ・スル・ショッピングの南側トンネル）内で強盗事件が多く発生しています。強盗犯人は、トンネル内にある扉の中に身を潜め、歩行者が近づいたところを襲撃するという情報があります。統計によると、周辺の強盗事件は、2023年1月から8月までに83件発生しましたが、本年同時期には、201件の強盗事件が発生しています。

5 テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知されていません。

6 誘拐・恐喝事件発生状況

日本人の被害は認知されていません。